

松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略 各施策のKPI達成状況

基本目標① やりきる力「3つの礎」を構築する(基盤づくり)

数値目標	成果指標	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)
	推進組織による事業実施数(件)	-	-	-	4	5	6	6

◎	1
○	0
△	0
-	0
合計	1

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
1 人口減少対策推進の基盤づくり										
①人口減少対策推進の制度構築	条例の制定	-	制定	制定	制定	制定	制定	制定	◎	平成28年3月25日に松山市人口減少対策推進条例を制定、同年4月1日より施行しKPIを達成した。この条例に基づき、松山市の人口減少対策に資する体制整備が図られた。

基本目標② つながる未来を応援する(少子化対策)

数値目標	成果指標	基準値 (H25年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)
	合計特殊出生率	1.36	1.36	1.42	1.39	1.40	-	1.54

◎	14
○	5
△	0
-	0
合計	19

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
1 若い世代の経済的安定										
①若者に対する就職支援	本市の就職支援制度を活用した若年求職者のうち就業に至った人数(人)※累計	-	24	43	66	89	123	100	◎	求職者ニーズに合ったセミナーの開催等に取り組んだ。就職に繋がる意識改革やスキルアップを図ることができ、全ての年度で目標を達成することができた。
2 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実										
①出会いの場の創出	婚活イベントでのカップル成立数(組)※累計	-	34	74	120	172	219	165	◎	結婚を希望しているにもかかわらず異性に出会う機会が少ない独身男女に対して、婚活に関するイベントや交流会を開催した。独身男女が良きパートナーと巡り合う「出会いの場の創出」を図ることができた。
	鳥しょ部における出会いイベントでのカップル成立数(組)※累計	15	22	31	40	47	52	40	◎	市の広報媒体の活用をはじめ、委託事業者によるメルマガ配信等、専門的なノウハウや情報を活用した広報活動を行うとともに、首都圏で鳥しょ部PRイベントを開催し、また、継続したフォローアップにも取り組んだ。カップル成立数は、目標以上に増加した。
②妊娠・出産支援の充実	保健師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問件数(件)	2,685	3,132	3,238	3,295	3,228	3,489	3,000	◎	保健師による全妊婦へのアンケートを実施し必要に応じて妊娠中から支援を行ったり、産後うつ対策に取り組んだ。妊娠期から子育て期にわたる相談やサービスの充実が図られ、全ての年度において目標を達成することができた。
③小児医療の充実	小児救急医療体制が確保されている時間割合(%)	100	100	100	100	100	100	100	◎	市内の開業医や、愛大、日赤の勤務医の先生方に理解・協力を得られたことにより、市医師会や関係機関の協力を受け運営している一次救急の「松山市急患医療センター」「松山市医師会休日診療所」を核として、二次救急病院や小児救急医療支援病院との連携が可能となり、365日24時間の小児救急医療体制を維持することができた。
④子育て支援の充実	かんがるークラブ参加者数(人)	-	137	184	209	192	146	192	○	1歳6か月児健康診査の会場で、保護者に保健師から説明し、予約受付を行っている。また当日は、参加者の希望や必要性から、歯の話を取り入れるなど、講話内容の充実を図った。希望する方が一人でも多く参加できるよう予約数を調整して定員数以上に受け入れたり、参加終了後のフォローアップを実施するなど、工夫しながら取り組むことができた。
	児童クラブの利用児童数(人)	3,536	4,099	4,726	4,968	5,255	5,344	5,518	○	共働き世帯の増加等の要因により増加した受入ニーズに対し、施設整備対応ができたことで、概ねKPIを達成することができた。
	利用者支援事業(施設案内・子育て相談等)の利用件数(件)	1,570	2,197	2,154	2,558	8,243	10,396	3,600	◎	市役所別館1階福祉総合窓口内と久米保育園地域子育て支援センター内の2カ所に保育・幼稚園相談窓口を設置し、平成30年8月からは、母子保健型である「すくすくサポート」を市内5カ所に設置したことで、相談件数も増加し、目標を達成できた。
	幼稚園のエアコン設置率(%)	3.1	28.1	81.8	100.0	100.0	100.0	100.0	◎	順調に計画どおり事業を進めることができたため、平成29年度にエアコン設置率100%(KPI)を達成した。
	小・中学校のエアコン設置率(%)	7.1	7.1	11.8	38.0	84.0	85.1	70.0	◎	PFI方式の導入により目標を上回る実績を達成している。平成30年度に市立全小中学校へのエアコン設置が完了し、目標を達成した。
⑤子育て世帯の経済的負担軽減	一人当たりの子ども医療費助成額(円)	乳幼児医療 39,300	乳幼児医療 39,500	乳幼児医療 40,500	乳幼児医療 40,300	乳幼児医療 40,700	乳幼児医療 41,100	乳幼児医療 39,900	◎	乳幼児医療は、出生届や転入等の届出時に申請の案内を行うなど、漏れのない給付に努め、ほぼ目標どおりの実績を達成できた。児童医療は、平成27年度から中学3年生の入院費まで対象を拡充したが、入院費のみの償還払いということもあってか、目標を下回る実績となっていた。しかし、令和2年1月から通院費まで対象を拡大したことにより、目標を大きく上回る実績となった。
		児童医療 1,300	児童医療 800	児童医療 1,000	児童医療 900	児童医療 850	児童医療 3,210	児童医療 1,320	◎	

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
⑥子育て拠点や居場所づくりの整備	地域子育て支援拠点事業の箇所数(箇所)※累計	27	28	29	31	31	31	31	◎	乳幼児と保護者が気軽につどい、交流や相談を行える場を市内31箇所で開催し、計画どおりに拠点を増やすことができた。
	保育所等待機児童数(人)	95 (H27年度)	95	94	88	36	33	0	○	待機児童にかかる定義の変更に伴い、平成27年度から保護者が求職活動中の場合について待機児童に含めることとなった影響で、市内全体の保育ニーズに対する保育定員は確保できているものの、待機児童数をゼロにすることができていない。今後は、待機児童対策・保育の質向上事業の推進や、企業主導型保育事業の活用などにより、待機児童ゼロの達成を目指す。
	放課後子ども教室開設数(箇所)※累計	29	32	33	33	34	32	44	○	当初は年間3箇所程度の新規開設を目標としていたが、一部の教室で継続困難な要因(授業時間の変更により活動時間を十分確保出来なくなってきたり、スタッフの継続的な確保等)もあり目標値を達成することはできなかった。今後は既存の教室の継続性を重視しながら、新規についても希望ニーズに応じて対応していくことを目指す。
3 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現(「働き方改革」)										
①仕事と生活の調和の実現	松山市役所における男性職員の育児休業取得率(%)	1.1	2.8	6.1	10.1	8.1	15.5	13.0	◎	年2回の説明会の開催や男性職員向け啓発パンフレットの配布等により、育休についての知識が広がり、目標が達成できた。今後も男性職員の育児参加の機会を増えるよう引き続き取り組みを実施していく。
	松山市役所における職員の年次休暇取得率(%)	57	60	62	64	66	67	80	○	出産育児支援説明会の開催による周知啓発や、ファミリー・コミュニティ休暇の新設などを行い、取得率自体は増加しているものの、目標に達することができなかった。今後、さらに取得を促進していくために、業務の簡素化、各職場での休暇を取得しやすい雰囲気づくり等の施策を検討する。
	本市の就職支援制度を活用した女性求職者のうち就業に至った人数(人)※累計	-	34	66	97	128	162	150	◎	女性求職者・潜在的求職者への再就職支援、女性が働きやすい企業風土づくり、女性人材の確保・育成に取り組んだ結果、就業人数を順調に伸ばすことができた。
	松山市男女共同参画推進センターの「まどんな応援企業」認証団体数(団体)	-	30	50	71	74	77	60	◎	ワークライフバランス関係のセミナーへ参加した企業への声掛けを行うなど、積極的に周知を行ったことで、認証団体も増え、目標を達成することができた。

基本目標③ 松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)

数値目標	成果指標	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)
	社会移動数(転入数-転出数)(人)	△3	300	5 (H27・H28の平均)	5 (H27~H29の平均)	△81 (H27~H30の平均)	△74 (H27~R1の平均)	均衡以上 (H27~H31の平均)

基本目標③ 達成状況	
◎	11
○	5
△	0
-	0
合計	16

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
1 移住の促進										
①都市イメージの向上	本市プロモーション活動における情報接触人数(人)	215,000	303,000	395,000	424,000	480,000	420,900	320,000	◎	フリーペーパー「暖暖松山」の発行、松山の暮らしやすさを発信するロードムービーの製作など動画を活用したプロモーション、テレビや雑誌などへの露出を図るメディアプロモーション、Facebookを活用した情報発信を行った。当初と比べ、様々な媒体による情報接触人数が伸びてきており、効果的なプロモーション活動ができた。
	市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数(人)※累計	-	117	455	799	1,159	1,631	960	◎	移住フェアなどで移住検討者に対して松山での暮らしについての情報提供を行い、移住相談窓口に繋がった結果、移住者数は目標以上に増加した。
②移住相談体制の充実	移住に関する相談件数(件)※累計	-	135	688	1,218	1,937	2,537	740	◎	移住フェアなどで移住検討者に対して積極的な移住情報の提供の結果、相談件数も順調に伸びている。
	移住Webサイト訪問数(件)	-	-	126,000	154,000	175,000	169,000	100,000	◎	平成27年度に作成した移住ガイドブック(若者向け・シニア向け)や移住ウェブサイト「いい、暮らし。まつやま」を活用し、移住希望者に情報提供を行った。移住に対する社会的な関心の高さや、移住情報の積極的な展開により、興味を持つ人が増えてきている。
③移住体験・機会の充実	お試し居住施設利用世帯数(世帯)※累計	-	1	5	17	23	30	28	◎	各種移住サイトや移住系雑誌・新聞のほか、移住フェア等で宣伝活動を行った結果、目標値を超える利用があった。
	移住ツアー等参加者数(人)	-	39	153	138	161	160	100	◎	松山への移住のきっかけとするため、市内在住の独身男性と、主に市外在住の独身女性が参加する婚活ツアーを、島しょ部と松山中心部でそれぞれ開催したり、移住専門誌と連携した移住体感ツアーを開催した。目標は大幅にクリアし、成果が上がっている。
	地域おこし協力隊隊員数(人)※累計	-	-	4	5	5	7	10	○	平成28年度に4名の協力隊を採用した。2名が退職・任期満了となる中、平成30年度に1名、令和元年度に2名を採用し、隊員数を伸ばすことができた。

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
④移住定着支援の充実	移住者のうち市の支援窓口や支援制度を利用した創業者数(人)※累計	0	1	3	6	7	9	30	○	移住コンシェルジュマニュアルでの紹介や、えひめ・松山産業まつりに出展するなど事業の周知活動を行った。移住フェアなどでの相談件数は一定数あるが、移住をして創業までとなると、長期(数年単位)で考える方もおり、目標値には届かなかったが、増加傾向とすることができた。
	移住者のうち認定新規就農者数(人)※累計	8	10	11	15	19	25	20	◎	新規就農にあたっては、それぞれ状況や環境が違うため、農業技術研修、農機具導入、農地の確保など、相談者の意向や状況に応じた支援や事業を適切に案内したことにより、目標を達成することができた。
	島しょ部空き家バンク登録物件数(件)※累計	-	-	16	23	38	50	30	◎	中島総代会や興居島各町連絡協議会などを通じて、チラシを配布するなど、継続して地域全体に呼びかけを実施したことで、物件情報が多く集まるようになり、目標を達成することができた。
	空家対策基本計画の策定	-	-	-	策定	策定	策定	策定 (H28年度)	◎	空き家対策基本計画を策定し、目標を達成することができた。この計画の方針に基づき、期間中、約4,300件の住宅リフォーム補助を実施した。
	移住者の受け入れに際し地域がサポートした人数(人)※累計	-	-	7	33	45	54	50	◎	まちづくり協議会等と連携し、地域おこし協力隊が地域活動に参加できるよう呼びかけることができた。
2 定住の促進										
①シビックプライドの向上	中学生が地元の偉人などを紹介した記事の広報紙掲載数(回)※累計	-	-	12	24	35	47	48	○	広報まつやまに月1回、市内の市立中学校を1校ずつ掲載した。(市内29校での掲載後、2巡目に向けて内容等リニューアルの調整を行ったため、1ヶ月分(H30.9.1号)は未掲載となった。)
	まちづくり提案制度による活動人数(人)	-	-	74	56	115	76	30	◎	松山市の子どもたち・若者の団体自らがまちづくりを提案・実践する活動を支援した。活動団体の構成員数を指標としており、小中高生はクラス単位で申込み団体があるため、年度による実績値の変動はあるが、目標値を上回ることができた。
	健全な職業観・勤労観に関する講座開催回数(回)※累計	-	14	29	44	59	74	75	○	愛媛県中小企業家同友会(中小企業振興円卓会議メンバー)が、愛媛大学で中小企業の歴史や面白さと価値を体系的に学ぶ講座を開催した。今後ともキャリア教育の重要性等を関係機関と共有し、キャリア教育を推進する。
3 大学等の活性化										
①大学等と連携した若者の流入・定着促進	地元大学等との連携事業参加者数(人)※累計	190	889	1,763	2,508	3,270	4,055	4,190	○	公開講座や講義など、市職員等が直接関わる取組を実施した。また、地域活動や地元企業の実践的な講義が増加し、大学等と連携した取組は拡大している。

基本目標④ 魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)

数値目標	成果指標	基準値 (H24年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)
	市内事業所数(事業所)※累計	21,363	-	21,001 (H28年)	-	-	-	21,560
	生産年齢人口の有業率(%)	68.7	-	-	74.6	-	-	70.2

基本目標④ 達成状況	
◎	16
○	8
△	0
-	0
合計	24

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
1 産業の競争力強化(業種横断的取組)										
①地域経済に関する各種データの分析・活用	経済センサスによる「付加価値額(企業単位:全産業)」の全国市区町村順位(位)	44 (H24年)	-	-	-	36 (H28年)	-	36 (H31年)	◎	松山市産業連関表や国が提供するRESASを活用し、本市の地域経済を活性化させる施策を検討するにあたり、ターゲットとなりうる産業の抽出を行った。「地域経済分析システム(RESAS)」での公表時期が不定期であり、過年度データであることから指標の捕捉が困難であったが、付加価値額は増加している。
	②中小企業の支援	市の支援制度や関係機関との連携事業により創業した中小企業事業所数(事業所)※累計	34	96	235	394	614	870	470	◎
松山圏域企業の商談件数(件)※累計		-	163	486	826	1,199	1,547	1,000	◎	連携中核都市圏ビジョンの取り組みにも位置づけ、圏域での商談フェアを開催し周知啓発に努めた結果、松山圏域全体から幅広い参加が得られたため、目標を大幅に上回ることができた。
③稼ぐ力のある産業立地の促進	新規立地及び増設をした指定企業数(件)※累計	71	77	77	93	97	101	90	◎	企業の設備投資意欲の高まりを捉えて、直接対話による継続した営業活動や各種支援の活用を行ったことを要因とし、順調に目標を達成することができた。
	指定事業所となったコールセンター等の新規立地及び増設企業数(件)※累計	12	12	13	13	13	13	20	○	雇用吸収力の高い事務センターやコールセンター等の立地は、近年の人材不足が顕著になっている状況の中、本市既存企業との雇用バランスを勘案した誘致活動の要因により、大幅な増加にはつながりにくい状態が続いている。
④各種団体との連携による新たなビジネスの創出	市の支援窓口や支援制度を利用した創業者数(人)※累計	18	52	84	111	127	148	108	◎	商工会議所や金融機関を通じて事業を周知し創業向けセミナーや専門員による個別相談等を行った結果、目標を大幅に上回ることができた。
	市内クリエイターと事業者のビジネスマッチング件数(件)※累計	9	40	72	77	-	-	60	◎	商談会の開催等により平成29年末時点において十分な成果を挙げ、31年度までの目標を達成したためH29年度末で事業を終了した。

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
⑤企業のグローバル化支援	台湾企業との連携及び販路開拓・事業所進出企業数(企業)※累計	1	2	3	3	3	4	6	○	海外企業との取引開始は商習慣や言葉の違い等により時間がかかることが多く、目標達成に至らなかったものの、市内中小企業の海外進出を支援することができた。
	公開されたオープンデータの数(件)※累計	-	-	632	724	750	889	750	◎	オープンデータの拡充及び利活用について、庁内で周知・啓発を行った結果、オープンデータの公開件数について、目標を達成することができた。
⑥ICT等の利活用によるビジネス創出や生産性向上	本市指定事業所の在宅就業者数(人)※累計	161	402	554	587	642	678	560	◎	指定事業所数の増加に伴い、指定事業所の在宅就業者数が増加した。また、各種テレワークに関するセミナーやスキルアップ研修等を実施するなどテレワーカーの育成事業を行ったことで、在宅就業者数の目標を達成している。
	2 産業の競争力強化(業種別取組)									
①若者にも魅力的な農林水産業の成長産業化	学校給食での地場食材の食材数ベースの利用割合(%)	26.2	29.9	31.5	30.4	30.8	30.0	35.0	○	食材価格(特に米、パン、牛乳)が上昇する中、給食費は据え置かれているため、おかずに使える金額が減っている。その中で、栄養価を考慮しながら物資調達を行うと、県外産の安価な食材を使用することとなり地場産物を取り入れることが難しく、目標達成には至らなかったが、基準値からは増加している。
	「まつやま農林水産物ブランド」製品等の新規取扱い店舗数(店)※累計	104	177	243	312	356	427	273	◎	平成29年9月に「グニーユカリ」をまつやま農林水産物ブランドに認定し、情報発信を実施した。トップセールスや関西圏、中京圏などへの販路拡大などで順調に店舗数が伸びており、目標値を達成することができた。
	果樹有望品種の栽培施設整備面積(ha:ヘクタール)※累計	20	30.43	40.84	52.5	61.1	68.7	75	○	平成30年7月豪雨災害による影響で、実績値の増加が伸び悩んだが、継続して施設整備や将来的な有望品種等の栽培につながる取組への支援を実施したこともあり、次世代につながる農業の構築に寄与することができた。
	有害鳥獣被害面積(ha:ヘクタール)	11	9	13	9	13	10	4	○	猟友会への捕獲報償支出による有害鳥獣の捕獲推進や侵入防止柵設置への助成等、総合的な被害対策に取り組んだ。また、愛媛大学、農協、猟友会等と協力して集落主体で取組計画を策定し、地域の状況に応じた鳥獣対策を進めた。イノシシ被害は減少したが、防護柵の未設置地域での被害が発生したり、サル、シカ等イノシシ以外の被害が増加する年度もあった。
②戦略的観光振興による経済活性化	観光入込客数(万人)	571	580	583	601	601	615	600	◎	瀬戸内・松山ツーリズム推進会議において、広島圏域を含めた広域観光のPRをしたり、市長のトップセールスをはじめとした旅行会社への働きかけ等による旅行商品造成・販売促進などで、観光誘客を図っている。観光入込客数は、広島地域や交通事業者等と連携したプロモーションなど様々な取り組みにより目標値を大きく上回る事ができた。
	外国人観光客数(人)	88,700	133,800	187,500	195,300	217,400	228,100	310,000	○	HPやパンフレットの多言語化、市有施設でのキャッシュレス決済・フリーWi-Fiの導入など受入環境の整備や、デジタルマーケティング、宿泊・体験メニューの予約機能導入などを実施したほか、県と連携して台北線の定期便就航を実現した。当初の目標値100,000人を達成し、目標値を上方修正したため最終目標には届かなかったが、外国人観光客数は順調に伸びている。
③文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出	(仮称)文化振興計画の策定	-	-	-	策定	策定	策定	策定	◎	予定どおりH29年度末に「松山市文化芸術振興計画」を策定し、目標を達成した。今後は、計画の将来ビジョンに掲げた「市民全員が“まつやま文化人”」の実現に向けて、総合情報戦略、文化創造戦略、ことば文化発信戦略を推進する。
3 良質な雇用の場の創出と人材育成										
①良質な雇用・労働環境の整備	<再掲>本市の就職支援制度を活用した若年求職者のうち就業に至った人数(人)※累計	-	24	43	66	87	117	100	◎	求職者ニーズに合ったセミナーの開催等により、就職に繋がる意識改革やスキルアップが図られ、目標を達成することができた。
	勤労者福祉サービスセンターの会員数(人)	5,881	6,265	6,149	6,149	6,058	6,347	7,100	○	平成30年度まで会員数が減少していたが、広報活動や関係機関を通じて事業所訪問するなどの勧誘活動により、令和元年度は、過去4年間を超える会員数にすることができた。
②職業能力向上と就労機会の拡充	訓練奨励金認定者の正規雇用者数(人)※累計	80	129	169	188	215	229	175	◎	訓練奨励金制度の対象に求人充足率の低い分野の訓練を含めたことや、制度の周知に努めたことにより、目標を達成することができた。
③女性の活躍支援	<再掲>本市の就職支援制度を活用した女性求職者のうち就業に至った人数(人)※累計	-	34	66	97	128	162	150	◎	女性求職者・潜在的求職者への再就職支援、女性が働きやすい企業風土づくり、女性人材の確保・育成に取り組んだ結果、就業人数を順調に伸ばすことができた。
	<再掲>松山市男女共同参画推進センターの「まどんな応援企業」認証団体数(団体)	-	30	50	71	74	77	60	◎	ワークライフバランス関係のセミナーへ参加した企業への声掛けを行うなど、積極的に周知を行ったことで、認証団体も増え、目標を達成することができた。
④農林水産業の担い手育成	認定新規就農者数(人)※累計	14	35	43	58	67	83	70	◎	農協等の関係団体と連携しながら就農希望者に対して各種支援を行ったことで、新規就農者の獲得につながり、目標値に対して順調に実績が推移した。
⑤地域ニーズに対応した人材育成支援	<再掲>健全な職業観・勤労観に関する講座開催回数(回)※累計	-	14	29	44	59	74	75	○	愛媛県中小企業家同友会(中小企業振興円卓会議メンバー)が、愛媛大学で中小企業の歴史や面白さと価値を体系的に学ぶ講座を開催した。今後ともキャリア教育の重要性等を関係機関と共有し、キャリア教育を推進する。

基本目標⑤ 暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)

数値目標	成果指標	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)
	市内総生産(兆円)	1.6 (H24年度)	1.6 (H25年度)	1.6 (H26年度)	1.6 (H27年度)	1.6 (H28年度)	1.7 (H29年度)	1.6 (H29年度)
	連携中枢都市圏に係る連携協約数(件)	-	-	5	5	5	5	5
	本市の暮らしやすさ満足度(%)	55.7	40.3	39.5	42.1	43.5	41.8	60.0

基本目標⑤ 達成状況	
◎	17
○	7
△	1
-	0
合計	25

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括	
1 本市における地域経済・生活圏の形成											
①需要を創造する民間主体の経済まちづくりの推進	市街地再開発事業等の施行地区数(地区)※累計	3	4	5	5	5	5	5	◎	民間による中心市街地の再開発を支援し、予定どおり目標を達成できた。今後も事業推進を図り、中心市街地の活性化に資する環境整備を行う。	
	中心市街地へ新規立地及び増設をした指定企業誘致数(企業)※累計	17	18	19	21	21	21	25	○	人材不足の影響により、新規の立地が伸び悩んでいるが、大規模なオフィス床が不足する中で、奨励金制度の拡充や、支援策の周知媒体の充実などに取り組み、一定の実績につながっている。	
	<再掲>新規立地及び増設をした指定企業数(企業)※累計	71	77	77	93	97	101	90	◎	事業所、工場、物流施設の立地に適した土地が不足しているなかで、直接対話による継続した営業活動などで、目標を達成することができた。内訳として業種は製造業が多く、本市の希望する業種(形態)と概ね合致している。	
②都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成	立地適正化計画及び地域公共交通網形成計画の策定(件)	-	-	-	-	2	-	2 (H30年度)	◎	予定通り、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の基本計画となる立地適正化計画と地域公共交通網形成計画を策定し、目標値を達成した。これにより、施設や居住の適切な立地誘導とあわせ、公共交通の維持やサービス水準の向上を図るなど、土地利用と公共交通の一体的なまちづくりを行うことが期待できる。	
2 安心で健康な暮らしの確保											
①家計の質的向上	世帯主の配偶者のうち女性の有業率の3か年平均(%)	36.0	39.8	41.2	42.9	39.9	44.4	42.0	◎	女性求職者・潜在的求職者への再就職支援、女性が働きやすい企業風土づくり、女性人材の確保・育成に取り組んだ結果、実績値が順調に伸び、目標を達成することができた。	
②安全・安心な暮らしの推進	実質赤字比率	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	◎	健全な財政運営に努めた結果、目標を達成できている。	
	連結実質赤字比率	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保	◎		
	実質公債費比率(%)	10%未満	6.4%	6.7%	7.4%	7.5%	7.7%	7.7%	10%未満		◎
	将来負担比率(%)	100%未満	57.6%	59.5%	61.2%	58.2%	51.8%	51.8%	100%未満		◎
	指定避難所への資機材整備数(箇所)※累計	88	129	172	178	183	187	187	187	◎	リヤカー、発電機、投光器、簡易トイレ等の資機材は、当初計画通り追加配備を行い、目標を達成することができた。
	災害用トイレ設置施設数(施設)※累計	2	4	4	4	4	9	9	11	○	調査・設計に想定以上の時間を要したため、計画から遅れている。引き続き災害用マンホールトイレの整備を行い、減災対策を進めていく。
	基幹管路の耐震適合率(%)	24.8	26.0	31.8	34.4	36.3	36.7	36.7	37.0	○	一部の工事で関係者との協議により工程の見直し等が生じたため、目標値に達しなかったが、おおむね計画的な布設替工を実施することができた。
	MACネットCSCの登録件数(件)※累計	46,185	47,296	52,033	54,437	62,464	74,784	52,000	◎	広報誌への掲載や、団体に向けた説明会等の周知啓発活動を実施、また機能の充実を図ったことにより、新規利用団体が増加し、目標値を大きく上回ることができた。	
③健康寿命の延伸	運動を主とした自主活動グループ支援数(団体)※累計	10	15	39	127	241	290	90	◎	周知啓発や関係団体等との連携で、順調に目標を達成できた。特に平成30年度に、介護予防事業で実施してきた「健康教室」を運動自主グループに移したことで、地域間での口コミや問合せの増加により「まつイチ体操体験会」が増加したことで、大幅に数値が伸びることができた。	
3 人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化											
①官と民の既存ストックのマネジメント強化	<再掲>空家対策基本計画の策定	-	-	-	策定	策定	策定	策定 (H28年度)	◎	予定どおり空き家対策基本計画を策定し、目標を達成することができた。この計画の方針に基づき、迷惑空き家等への対応を、期間中、約880件実施した。また、令和元年度に全国版空き家バンクに登録し、今後中古住宅の有効活用を促進していく。	
	公共施設等総合管理計画及び個別計画策定数(件)※累計	2	2	4	4	5	7	9	○	全公共施設の老朽化対策の基となる計画である公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定した。また、既存ストックごとの個別計画については、6計画(道路・港湾・公園・住宅・学校・上水)が策定済となったが、残る2計画(漁港・下水)は国庫補助採択やシステム構築等の要因により策定完了に至らなかった。	

達成状況：◎→R元年度の実績値が目標値を達成している。○→R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R元年度の実績値が基準値を下回っている。

施策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H26年度)	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R元年度)	達成状況	総括
4 近隣地域との連携による経済・生活圏の形成										
①連携中枢都市圏の構築	連携中枢都市圏に係る連携事業数(事業)※累計	-	-	37	37	40	40	30	◎	目標はクリアできている。ただし、連携事業については2事業ずつ増加していくこととしているが、新たに大きく増やすことまではできていないため、今後各市町とも連携し、連携事業の増加に向けて取り組む。
5 住民が地域防災の担い手となる環境の確保										
①地域防災力の向上	大学生防災リーダー登録数(人)※累計	-	103	326	540	771	956	600	◎	愛媛大学と連携したガイダンスなどでの周知を行うほか、愛媛大学以外の市内の大学・短期大学にも講義を開放したことで、目標値を上回る受講者を確保することができた。
6 ふるさとづくりの推進										
①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり	俳句甲子園エントリー数(件)	29	32	34	41	40	35	47	○	大会未参加県へOBOGを講師として派遣し、俳句と俳句甲子園の魅力伝える講座を開催するなど、エントリーの増加や維持継続に取り組んだ。常連校や既存参加校でも結果が出なかったり、部員不足や指導教員の異動等の理由から参加を取りやめたりすることなどの影響が、目標を達成することはできなかったが、基準値を上回ることはできた。
	『坂の上の雲』フィールドミュージアム活動支援事業において支援する団体数(団体)※累計	36	38	40	42	43	46	44	◎	広報紙やラジオ、Facebookなど市の広報媒体等を活用し制度のPRに努めた結果、地域資源の利活用に取り組む団体数が増加し、目標値を達成することができた。
	まちづくりファンド支援件数(件)※累計	7	11	18	23	25	26	24	◎	民間主体のまちづくりを支援する制度として、より多くの方に活用してもらえるよう、市HPや広報等で事業の周知に努めた結果、計画期間内に目標値を達成することができた。引き続き、民間が実施する歴史的建造物の保全や改修、交流施設の整備などに対して支援を行っていく。
	まちづくり協議会の設立数(準備会含む)(団体)※累計	17	20	23	26	28	29	33	○	未設立の地区には、職員が出向いて説明するなど取り組んだ結果、29の協議会又は準備会が設立し、防災や福祉など地域の課題解決や地域特性をいかしたまちづくりが行われている。今後も継続して地域に出向き、まちづくり協議会の必要性などを地域のキーパーソンに丁寧に説明していくこととする。
	松山市域からの温室効果ガス排出量(t-CO2)	4,323,001 (H24年度)	4,561,215 (H25年度)	3,926,889 (H26年度)	3,770,374 (H27年度)	3,404,048 (H28年度)	3,428,794 (H29年度)	3,905,000 (H29年度)	◎	温室効果ガス削減に向け、再生可能エネルギーを「割る・貯める・賢く使う」スマートシティの構築を目指し、市有施設への太陽光発電設備の導入、クリーンエネルギーシステム等設置者への補助など、再生可能エネルギーの普及拡大や、温暖化対策に関する市民の意識醸成に取り組んだ結果、太陽光を始めとした再生可能エネルギーが増加し、温室効果ガス排出量が減少した。
②シビックプライドの向上	<再掲>中学生が地元の偉人などを紹介した記事の広報紙掲載数(回)※累計	-	-	12	24	35	47	48	○	広報まつやまに月1回、市内の市立中学校を1校ずつ掲載した。(市内29校での掲載後、2巡目に向けて内容等リニューアルの調整を行ったため、1ヶ月分(H30.9.1号)は未掲載。)
	『坂の上の雲』ふるさとウォーク参加者数(人)	2,600	3,000	1,350	1,050	1,750	2,010	2,600	△	年2回の実施のうち、平成28年度から1回を郊外で実施することで、広く地域の魅力にふれてもらえるようにしている。開催地の変更により参加者数が変動しており、また、特に平成29年度は悪天候による影響が大きく、参加者数が減少した。

区分	基本目標① 基盤づくり	基本目標② 少子化対策	基本目標③ 移住定住対策	基本目標④ 地域経済活性化	基本目標⑤ 暮らしと経済 まちづくり	合計
◎ R元年度の実績値が目標値を達成している	1	14	11	16	17	59
○ R元年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等	0	5	5	8	7	25
△ R元年度の実績値が基準値を下回っている	0	0	0	0	1	1
- 実績値が未確定	0	0	0	0	0	0
合計	1	19	16	24	25	85